



梅雨入りしました…

「じよろ」

小林 純一

じよろ、という字はね、
如(じよ)、雨(う)、露(ろ) と書くんだよ、
雨降る如く、
露おく如く……

水をまくのじやなく、
雨を降らすように、
やわらかく、やわらかく……
ヨシコも やってごらん。

そう、そう、
しゃわ しゃわ しゃわ
しゃわ しゃわ しゃわ

ほら、
葉っぱが 声をあげているだろう。
草が からだをくねらせて いるだろう、
花びらが 輝きだしたろう、
うれしいのさ、喜んでるのさ。

じよろで、雨を降らせているとき、
人は神さまになる……
え、天使のほうが いい？
そう、子どもだったら 天使になる……
やさしい 気持ちになって、
やさしい 顔になって……

おぼえておき、
じよろは 如雨露
水をまくんじやないんだよ、
雨を そそぐんだよ、
露を うるおすんだよ。
しゃわ しゃわ しゃわ
しゃわ しゃわ しゃわ
やわらかく、やわらかく。

(詩集『茂作じいさん』1978年刊)



九州北部の梅雨入りが6月11日に発表されました。昨年と比べると、1ヶ月ほど遅く、平年と比べると1週間ほど遅いそうです。今日は梅雨というのが信じられないほどの好天で、三原っ子も元気よく外遊びをしています。しかし、天気がよいのも明日までで、土曜日からはしばらくは雨が続きようです。

さて、私はあまり梅雨が得意ではないのですが、梅雨に入るとなぜか上記の詩を思い出します。雨になると私も含め嫌がる人も多いと思うのですが、植物にとっては恵みの雨。この時期にしっかり水分を吸い上げることで、大きく大きく成長することができるのです。見方を変えると、梅雨もそうそう悪いものでもないなあと思います。また、1、2年生は今アサガオやミニトマトを育てていますが、雨降る如く、露おく如く…やわらかく、やさしい気持ちで、如雨露で水をそそぎ、うるおすことができる子どもになってほしいと願っています。

三原に吹く風

先日、6年生がICT活用の研究授業を行いました。今年はクロームブックを活用することそのものが目的ではなく、クロームブックをどのように活用すればよりよく授業改善が行えるかというテーマで研究を行っています。さすがは「輝くリーダー6年生！」。すっかり操作にも慣れ、主体的で対話的な学び、協働的な学びのためにクロームブックを使いこなして、活発な意見交換がなされていました。



宮原のつぶやき

先日、友人からトム・クルーズのトップガンを勧められたので、せっかく見るのだったらと007に引き続き、2回目の4DXを体験してきました。前作を1986年とちょうど20歳ぐらいで見て、フライトジャケットを買いに走ったので(けっこうミーハーです^-^;)、懐かしかったのと同時に、最新の技術が満載の4DXは、水はかかるは、煙は吹き出すは、まるでジェットコースターのように、まったく飽きることがありませんでした。大好きな「鋼の錬金術師」や司馬遼太郎原作の「峠 最後のサムライ」、「キングダム」と、コロナ禍で控えられていた大作が目白押しで、With コロナに移行していつているのだなあ実感している今日この頃です。